

| 調査の観点 | 発行名 東京書籍 | 大日本図書 | 学校図書 | 教育出版 |
|--|---|---|---|---|
| <p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対する配慮されているか。 (3)各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮しているか。 (4)児童の意欲、関心を引き出す配慮があるか。 (5)児童の習熟の程度に応じた発展的な学習内容の取扱いが適切であるか。</p> | <p>(1)学習指導要領の内容に配慮されている。 (2)絵や写真のバランスよく情報量が適量である。スタートカリキュラムや安全指導にも対応されている。 ・情報量なども各学年バランスがとれている。クイズなどもあり、児童の興味・関心が引き出される。 (3)車イスの挿絵、家の人や地域の方との交流を促す記述が多くあり、身近な人々とのかかわりに配慮されている。 (4)活動の中で、どのように他者と交流するかの例や留意点が吹き出しで出ている。 ・夏休みのページが夏休みの活動をイメージできる工夫がされている。 (5)「べんりてちょう」「ポケットずかん」が発展を意識した工夫となっている。</p> | <p>(1)学習指導要領の内容に配慮されている。 (2)学習内容をタイトルにし、児童に分かりやすい言葉で示している。内容も適量である。スタートカリキュラムや安全指導にも対応されている。 (3)家族や地域の方とのかかわりについて触れた記述が多い。 (4)イラストと写真の両方でおもちゃが紹介されていて、作りたいと言う意欲を引き出す工夫がされている。 ・ビンゴカード、半透明シートがついているなど、児童が興味・関心を示しそうな工夫がされている。 ・夏休みのページが夏休みの活動をイメージできる工夫がされている。 (5)ワークシートの例文などが多くあり、どのようなことを書けばよいのかが分かる工夫がされている。 ・ちいさな図鑑のページがあり、学習を深められる。</p> | <p>(1)学習指導要領の内容に配慮されている。 (2)学習内容が見開きページの左に大きく提示され課題を捉えやすい構成になっている。情報量的にも適量である。スタートカリキュラムにも対応されている。 ・上巻に「あんぜんのページ」があり、登下校時の安全、防災について指導しやすい内容になっている。 (3)上下巻とも5つの大単元構成で連続性があり、分かりやすい構成になっている。 (4)気付きを促す子供たちの発言や「もっと〇〇にしてみよう」など、工夫を促すページがある。 ・最終ページに「きみならどうする」、のまとめがある。</p> | <p>(1)学習指導要領の内容に配慮されている。 (2)情報量が適量である。スタートカリキュラムにも対応されている。 (3)下巻では、気付きの視点が多く示され、発達段階に応じている。 ・家族や地域の方とのかかわりについて触れた記述が多くある。 (4)児童の疑問に答える形でよく内容が配慮されている。絵や写真などで児童の興味をひくように工夫がある。 ・夏休みのページが夏休みの活動をイメージできる工夫がされている。 (5)「おうちでチャレンジ」で具体的な活動や体験を広げることができる。「おしゃべりタイム」で活動の楽しさを言葉で友達と交流することを促している。</p> |
| <p>2 構成及び分量 (1)内容は全体として系統的・発展的に構成されているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。 (3)教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮しているか。</p> | <p>(1)社会科や理科、総合的な学習の時間への接続に配慮されている。 (2)児童の自分の成長についての気付きを促す配慮がされている。 ・児童の興味・関心を引くように植物教材の種類が多く、成長の様子の見せ方が工夫されている。 (3)「やってみよう」のページ「おもちゃずかん」が発展的な投げかけがなされている。</p> | <p>(1)3年生以降の理科へとつながる場面設定の工夫がある。 (2)絵や写真で見やすい。児童に気付かせたい部分がたくさん吹き出しにある。 ・児童の自分の成長についての気付きを促すことができる配慮がされている。 (3)基本的事項をおさえたと、補充・発展的に扱う素材も多く取り入れられている。</p> | <p>(1)多様な表現活動を例示することで国語や算数、図工、音楽など、他教科との総合的な扱いにも配慮されている。 (2)見開き1ページで1時間程度に抑えられる内容である。 (3)「やさいずかん」「ものしりノート」「まなびかたずかん」等あり、発展的な学習に活用できる。 ・町探検では、肢体不自由な人に対する町の対策(ユニバーサルデザイン)にも触れ、身の回りにはいろいろな人がいることにも気付くことができる工夫がされている。</p> | <p>(1)写真やイラストの配置が工夫されている。児童のワークシートもよくできていて児童の発達段階を十分に配慮している。 ・教科のマークがあり、他教科との関連が分かりやすく表記されている。特に国語、音楽、図画工作については、多くの活動で他教科や関連が図れるように配慮されている。 (2)児童の自分の成長についての気付きを促す配慮がされている。 ・「ぐんぐんポケット」等、図鑑的な要素もよく配置されている。情報量が多い。</p> |
| <p>3 表記及び表現 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p> | <p>(1)写真の子供たちの表情が生き生きとしている。写真とイラストのバランスがとれている。 (2)「本当の大きさ図鑑」実物大の植物の絵の掲載やおもちゃの作り方の紹介等が掲載されている。</p> | <p>(1)透明なフィルムやモノクロページ等の工夫や、児童が楽しめる仕掛けがある。 (2)草や芽の写真などは少し小さい。 ・挿絵には、その絵が意図する内容の言葉が添えられている。</p> | <p>(1)写真、絵の量が多すぎず、短い言葉で学習内容が表現されている。 ・おもちゃの作り方などが詳しく書いてあり、児童が手にとって参考にできる。 (2)押し花作り、色水あそびのやり方、春、夏、秋、冬の遊びが写真・絵入りで分かりやすい内容である。 ・アサガオの日記の書き方が詳しい。(P36～)いろいろな植物の種・双葉・本葉・つぼみが比較しやすい。</p> | <p>(1)児童のカードの字が活字である。 (2)教科書の紙が若干薄くなっている。 ・写真が動くページや詩的な表現が盛り込まれ、花の栽培で豊かな心が養えるように配慮されている。 ・セミの種類や脱皮の連続写真等、児童の興味・関心をひく工夫がされている。</p> |
| <p>4 使用上の便宜 (1)全体の構成が見通せるように配慮しているか。 (2)課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮しているか。 (3)印刷・装丁に対して配慮しているか。 (4)地域性に対して配慮しているか。</p> | <p>(1)目次が全体を押さえやすい。 ・季節ごとにページが色分けされていて構成がはっきりし、見やすい。 (2)児童の課題発見や課題解決に向けて、写真やイラストを使いながら興味・関心を引く工夫がされている。 ・「べんりてちょう」は様々な情報を丁寧に書いてあり、補助教材としても使える。 ・「つたえよう」「しょうかいしよう」という形で単元を締めくくり、言語活動をよく取り入れている。 (3)カラーユニバーサルデザインに配慮している。ユニバーサルデザイン書体の使用で見やすい。再生紙と植物油インキを使用している。</p> | <p>(1)目次が大きく色分けされている。 (2)「せいかつことば」を、ところどころに入れ、言語活動を重視し語彙の広がりを図っている。 (3)環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。また、抗菌処理された表紙を使用している。 ・NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)の認証申請中である。</p> | <p>(1)目次では全体の構成はやや分かりにくい。 (2)巻末の「せいかつ まなびかたずかん」に見方、書き方など学習の仕方についての説明があり、課題探究に使える。 (3)環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。 ・写真が大きく見やすいが、A4版で縦が長い。 (4)下巻では日本各地の行事の紹介や世界の遊びが紹介されている。</p> | <p>(1)目次欄が月ごとに内容が分かるようになっており、見通しがつきやすい構成になっている。 (2)ページの右側に学習の手引きになる記述があり、課題発見につながる工夫がされている。 ・「ふりかえる」の項目によって、学習内容の振り返りができるようにしている。 (3)NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)の認証を取得している。 (4)「科学館」「八王子まつり」「多摩市のどんとやき」の記述と写真が載っており、十分に配慮されている。地方の様子の写真や記述があり、各地の様子がよく分かる。</p> |
| <p>5 総合所見 (1)教科の指導及び児童の学習活動の視点から総合的にみてどうか。 (2)現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。</p> | <p>(1)全体的にさっぱりしている。各コーナー工夫されている。 ・絵や写真の色合いがやさしくソフトである。 ・課題の提示が分かりやすく、教科書を使って導入の話し合いがしやすい。 (2)安全指導にも配慮され、バランスよくまとまっている。</p> | <p>(1)全体的に見て、児童の目線に立っていて使いやすく構成している。 ・写真のコントラストや色合いが少し濃い。 (2)児童の興味・関心を引く工夫が多くなされている。</p> | <p>(1)見本が多く提示されているので、実際にまとめたり記録したりするときに指導しやすく工夫されている。 ・教科書に直接記入できる内容がある。 ・「あさがおにつき」「はっけんカード」等が多く示され、生活科における言語活動の指導に重点が置かれている。 (2)巻末の「まなびかたずかん」等、課題追究や言語活動への配慮がなされている。</p> | <p>(1)情報量が多い。豊富な情報が課題発見や解決につながる。全体的に児童の目線に立って、興味・関心を引く構成である。 (2)詩、課題発見の投げかけ、留意点等、多様な情報が盛り込まれている。</p> |

| 発行者名 調査の観点 | 信州教育出版社 | 光村図書出版 | 新興出版社啓林館 | 日本文教出版 |
|--|------------------------------|--|---|---|
| <p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対する配慮されているか。 (3)各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮しているか。 (4)児童の意欲、関心を引き出す配慮があるか。 (5)児童の習熟の程度に応じた発展的な学習内容の取扱いが適切であるか。</p> | <p>見本の配布がなかったため、調査・研究せず。</p> | <p>(1)学習指導要領の内容に配慮されている。 ・ホップ・ステップ・ジャンプの言葉により、内容を押さえられるように工夫されている。 (2)カードが年間を通して発達段階を踏まえて、内容の書き方が工夫されている。 (4)上下巻とも文字が少なく絵や写真と端的な言葉で課題をつかめるように工夫されている。吹き出しがしてみたい、やってみたいという言葉が多く、動機づけとなる。 ・種や苗の植え方には解説の言葉がないなど、説明のないイラストが児童の興味・関心を引き出す工夫となっている。 (5)発展的な補充教材並びに発展教材等が少ない。</p> | <p>(1)学習指導要領の内容に配慮されている。 (2)スタートカリキュラム、安全指導にも対応されている。情報量も各学年バランスがとれている。 (3)家族や地域の方とのかかわりについて触れた記述が多くある。 (4)「わくわくずかん」は、発展を意識した工夫がされている。 (4)夏休みのページが夏休みの活動をイメージできる工夫がされている。 (5)別冊の「たんけんブック」は、探究学習に応用できる。</p> | <p>(1)学習指導要領の内容に配慮されている。 (2)量的にも適量。スタートカリキュラムにも対応されている。 (3)生活安全や防災、福祉などにも対応している。 (4)夏休みのページが夏休みの活動をイメージできる工夫がされている。 ・学習内容のタイトルが児童に分かりやすい言葉で示され本時の課題を意識できる工夫がされている。 (5)発展的な学習のために巻末に「なんでもずかん」がある。</p> |
| <p>2 構成及び分量 (1)内容は全体として系統的・発展的に構成されているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。 (3)教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮しているか。</p> | | <p>(1)内容が系統的に、発展的に構成されている。 (2)基本的な各領域の分量については適量である。資料的なコーナーは少なめである。 (3)「土にさわったら手をあらおう」等の表記があり、留意点の押さえとなる。</p> | <p>(1)教科書の右上隅に「わくわく」「いきいき」等、そのページの分類がついていて系統性をもって扱える。 ・他教科との関連が重視されている。 (2)豊富なカードが教師として指導の参考とできる。 (3)巻末の「わくわくずかん」、別冊の「たんけんブック」など資料的な要素もバランスよくついでおり、児童が情報として、授業に活用できる。</p> | <p>(1)1年間の生活科ノートは子供が系統的に学習できる。身近な物を使って作るおもちゃは、上巻より下巻の方が動きが複雑で、発達段階を配慮している。 (2)見開き1ページで1～2単位時間で学習するのに適した分量である。 (3)野菜の収穫の後に「もう一度チャレンジ」のページがある。また、巻末の「なんでもずかん」で、発展的な学習が可能である。 ・「こんなときはどうすればよいですか。」などの課題発見へとつながるコーナーがある。</p> |
| <p>3 表記及び表現 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p> | | <p>(1)文字が極力抑えられており、児童がイラストや写真を見ながら学習を深めていく工夫がある。 ・記号を使い、気を付ける点や学習の段階を分かりやすく表している。 ・発展教材としてあげられるアサガオ以外の植物が5種類と適量である。 (2)写真やイラストは落ち着いた色調である。</p> | <p>(1)写真の子供たちの表情が生き生きとしている。写真とイラスト、文字情報のバランスがよくとれている。 (2)表紙の写真が児童に親しみやすいものになっている。</p> | <p>(1)写真やイラストを上手に使いわけている。そこに解説が書かれており、情報量が多い。 ・児童のワークシートがたくさん掲載されており、授業のイメージがとらえやすい。 ・教科書に出てくる子が写真とイラストで初めに紹介されていて親近感がわくようになっている。 (2)目次や下巻の巻末に点字や凹凸があり、児童が興味・関心をもって取り組める工夫がされている。</p> |
| <p>4 使用上の便宜 (1)全体の構成が見通せるように配慮しているか。 (2)課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮しているか。 (3)印刷・装丁に対して配慮しているか。 (4)地域性に対して配慮しているか。</p> | | <p>(1)目次は単元名がちりばめられており簡潔で分かりやすいが全体の構成を見通すのは難しい。 (2)文字数が少なく、児童の理解に配慮がされている。また、児童の課題を引き出しやすい工夫がされている。 (3)折り綴じが少なく、低学年でも扱いやすい。環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> | <p>(1)目次はイラストと文字により視覚的に全体を把握しやすい工夫がされている。 (2)児童の課題発見や課題解決に向けて、写真やイラストを使いながら興味を引き、「こんなときどうしよう」といったコーナーなどの情報を活用することができる。 ・毎単元、「つたえよう」で締めくくられ、言語活動が重視されている。 (3)裏表紙に「2ねんせいでもつかうよ」の言葉がある。 ・NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構の認証申請中である。再生紙と植物油インキを使用している。 (4)様々な地域を紹介する写真が掲載されている。</p> | <p>(1)目次には単元名のみが記載されている。月ごとの大きな学習の予定が見通せる構成になっている。 (2)同じ定点から場面が撮影された写真が使われていて、季節教材として比較し課題としてとらえやすくなっている。 ・単元の最後は、伝え合う活動を入れ、言語活動に配慮されている。 (3)カラーユニバーサルデザインに配慮した表紙、植物油インキと再生紙を使用している。折り綴じがあり、植物の成長の様子が系統的に見ることができる。 (4)色々な国の子が写真や絵に出ていて、配慮されている。八王子市の写真も取り入れられている。</p> |
| <p>5 総合所見 (1)教科の指導及び児童の学習活動の視点から総合的にみてどうか。 (2)現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。</p> | | <p>(1)スタート、ジャンプなど本の中に印があり、学習の進め方が分かりやすい。文字が少なく、児童と一緒に眺め、話し合える。 ・表紙の絵は斬新である。 (2)絵や写真から課題をつかませよう、考えさせようという意図が感じられる教科書である。</p> | <p>(1)各コーナーが充実され、工夫がある。 ・ソフトな色合い、やさしい絵柄、全体に穏やかな印象である。 ・「ありがとう」のページが独特であり、思いやりの心を育てる工夫がされている。 (2)発展的な資料が豊富である。</p> | <p>(1)活用事例が多く、図鑑コーナーが児童にとっても使いやすい工夫がされている。アサガオの栽培だけでなく、他の植物を対比できるなど、児童の気付きの質を高める内容である。 ・単位時間毎のテーマが分かりやすく、児童に取り組みせやすい工夫がされている。内容的にも、「あいさつのしかた」「計画を立てるコツ」「じゅんぴ」などや発展的なコーナー等、教師にとっても使いやすい工夫がされている。 (2)現在の版より整理され、見やすくなっている。</p> |